

03 生徒指導総合連携事業の研究発表会

平

成18年4月から平成20年3月までの2年間、桂川町は国の教育政策研究所から「生徒指導総合連携事業」の指定を受けています。この事業のねらいは、学校を中心とした児童や生徒たちの問題行動に



▲ 発表者の言葉には確かな手応えが感じられます。

対し、学校・保護者・地域・教育委員会、そして関係機関等が連携して子どもが健全に育っていくように、地域の支援システムなどを整備していくことです。

そしてこの事業の指定を受けて約一年半が経過した11月1日、これまでの事業の取り組みに対する研究発表会が桂川中学校で開催されました。関係者ら約150人が出席したこの発表会では、これまでの取り組みなどがモニターなどで次々に説明されました。

またステージ後方には、PTA関係者が作成した「安全マップ」なども揭示されていました。

参加者はこれまでの取り組みを振り返り、今後の取り組みについて気持ちを新たにしました。

人権・同和問題の啓発標語代表作品

佳作

気づいてよ 差別されてる

人の声

桂川中2年 濱田 真衣さん



▲ 発表会当日の公開授業の様子。授業を受ける生徒の眼差しは、真剣そのものです。

テーマ別ミーティング 報告 最終回

10月12日開催

「町づくりの当面する課題と取り組みについて」その2

○ 行財政改革の進行状況について、広報紙等で分かりやすく公表してもらいたい。

○ 人件費の削減についてだが、議会議員の数も多いのではないのでしょうか。少数の能力のある方で運営すればよいかと思えます。

○ 各行政区での取り組みに、行政マシンの参加が少なく、不満に思っている区長は多い。課長クラスの年配の職員はそうではないと思うが、職員間でバラつきがある。積極的に参加してもらいたい。

○ 昔は、職員採用において町内出身者の採用がほとんどだったが、コネを振り切るため、成績重視になったと思う。今後は、採用に際し、地域参加等も踏まえて、地元優先で検討してもらいたい。

○ 今年の異常気象で、田植え時期に水が無く困った。水の確保策についてはどうなっているか。今後の対応策を示して欲しい。

○ このミーティングは今回限りで終わりなのですか。具体案の策定に至っていないので、是非継続してほしい。

今年の5月から開催されたこの「テーマ別ミーティング」では、延べ105名の関係団体等の方に参加をいただきました。

「福祉」や「教育」、「環境」に「まちづくり」の4つの分野をテーマに設定して行われたテーマ別ミーティング。時にはテーマを超えた広域的な提案もあり、熱心なミーティングが行われました。

今回提案された意見や要望等は、執行部で協議を重ね、これからの元気なまちづくりの貴重な礎として活用させていただきます。

次号(1月号)では、11月25日に開催された町政懇談会の様子を報告します。